

2016年4月

日本語教育研究センター テーマ科目担当教員各位

日本語教育研究センター
所長 館岡 洋子

テーマ科目群の科目廃止基準変更について（補足説明）
－初級～中級「テーマ科目」ご担当のお願い－

拝啓 平素より日本語教育研究センターの教育活動にご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、2016年2月に皆様にお送りしました別紙「テーマ科目群の科目廃止基準変更について」（以下「本文書」という。）について、補足説明をいたします。

本文書には、2017年度から2年度間（4学期間）連続で、不開講または最終登録者数が10名未満となった科目を廃止する旨を記載しております。この背景としては、本学において英語学位プログラムを設置する学部・研究科が増加することにもない、初級～中級レベルの履修を希望する留学生が急増し、本文書「参考資料」に記載のとおり、初級～中級レベルの定員充足率および履修希望倍率が高まる一方、上級レベルのそれらは低くなる傾向があります。

当センターでは、初級～中級レベルの履修希望者の増加に対応すべく、2015年7月初旬から8月末において、まずは初級レベルの科目に限定した2016年度テーマ科目の公募を行いました。2017年度については初級～中級レベルのテーマ科目の公募を行う予定です。

本文書における対象科目をご担当の先生方には、より学生ニーズの高い初級～中級レベルの科目をご担当いただきたく、本文書を送付いたしました。上記主旨等がわかり易く記載されておらず、非常勤講師の皆様にはご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。

テーマ科目群は他大学に類をみないユニークな取り組みであり、本センターの先進性を支えるものです。今後も増加し続ける留学生たちに引き続き魅力ある科目群を提供していただき、本学の日本語教育を支えていただくとともに、初級～中級レベルのテーマ科目のご担当にご理解、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

敬具

（本件連絡・問い合わせ先）
日本語教育研究センター事務所
E-mail : cjl-staff@list.waseda.jp
電話 : 03-5273-3142

2016年2月

日本語教育研究センター テーマ科目担当教員各位

日本語教育研究センター
所長 館岡 洋子**テーマ科目群の科目廃止基準変更について**

拝啓、平素より日本語教育研究センターの教育活動にご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、本学における留学生数は堅調に増加し、本学全体の外国人学生数は5,084名（2015年11月現在）に達しました。2015年度秋学期科目登録では、他学部・研究科等所属の学生も含め、約2,200名の学生が本センター設置科目を履修しております。これもひとえに、魅力ある日本語教育を实践されてきた先生方によるご尽力の賜物と感謝しております。

その一方で、2010年度以降の各学部・研究科における英語学位プログラムの拡大に伴い、初級レベルのニーズが増大し、相対的に上級レベルの履修希望者が減少しております。2015年度現在、上級レベルを中心にクラス定員に対する履修者数（定員充足率）が6割を下回っており、また履修者数が10名未満のクラスも散見されます。（詳細は、参考資料の「2015年度テーマ科目レベル別定員充足率、履修希望倍率」をご参照ください）。

つきましては、学生のニーズを捉えた学習機会の提供を期すために、従来のテーマ科目の廃止基準を変更し、下記の通り2017年度春学期より新たな学科目運用を適用いたします。今後とも当センターの教育活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

(現状)

2年度間開講されない科目は「廃止」とする。

(2017年度春学期以降)

- 1) 2年度間開講されない科目は「廃止」とする。
- 2) 2年度間にわたり履修者数が10名未満（9名以下）の科目は「廃止」とする。科目を「休講」としている場合は、履修者数0名とみなす。なお、履修者数とは1次登録、2次登録、3次登録、救済登録を経た、最終的な人数とする。

※上記学科目運用は、2017年度以降の適用とする。

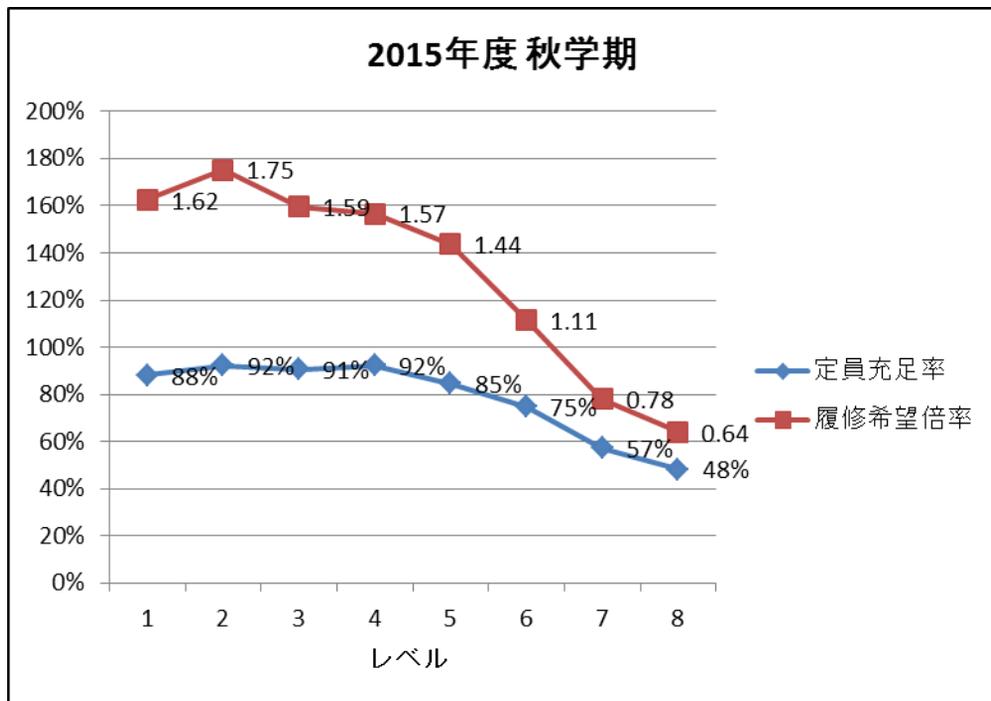
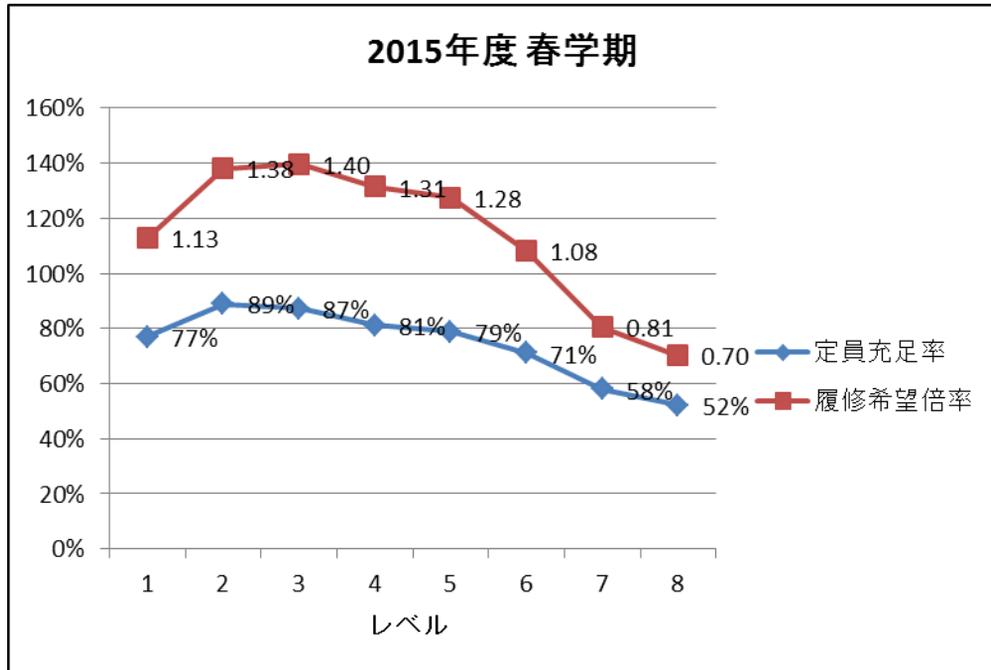
以上

参考資料（別添）：2015年度テーマ科目レベル別定員充足率、履修希望倍率.pdf

（本件連絡・問い合わせ先）
日本語教育研究センター事務所
E-mail：cjl-staff@list.waseda.jp
電話：03-5273-3142

【参考資料】

2015年度 テーマ科目レベル別定員充足率、履修希望倍率



定員充足率 = (総履修者数/受入可能人数)

履修希望倍率 = (科目履修希望者数/受入可能人数)

※複数のレベルにわたる科目は、科目数、受入可能人数、科目履修者希望者数(のべ)、総履修者数をそれぞれのレベルに按分し算出。